

地下鉄七隈線（天神南～博多）沿線まちづくりガイドライン検討委員会

（第２回） 議事録

日時：平成 24 年 6 月 14 日（木） 15:00～16:00

場所：市役所 15 階講堂

出席者

坂井 猛（委員長）	九州大学新キャンパス計画推進室 教授・副室長
辰巳 浩（委員長代行）	福岡大学工学部社会デザイン工学科 教授
嶋山 一機	We Love 天神協議会 事務局長
有隅 基樹	博多まちづくり推進協議会 事務局長
竹ヶ原 政徳	川端中央商店街振興組合 理事長
原 公志	上川端商店街振興組合 顧問
川原 雅康（欠席）	中洲町連合会 専務理事
楠下 広師	春吉校区自治協議会
山下 正士	博多校区自治協議会
花田 勇人	住吉校区自治協議会
福山 誠（欠席）	東住吉校区自治協議会
吉村 義美	堅粕校区自治協議会
細川 道夫（代理：田中）	福岡県 警察本部交通部交通規制課 課長補佐
小田 健治	福岡県 博多警察署交通第一課 課長
宮田 敏通（欠席）	福岡県 中央警察署交通第一課 課長
清水 信彦	西日本鉄道株式会社自動車事業本部 副本部長兼計画部長
前川 聡幸	九州旅客鉄道株式会社総合企画本部経営企画部 担当部長
小山 登	社団法人福岡市タクシー協会 常務理事
富山 英範	九州地方整備局 福岡国道事務所 所長
池永 昭夫（欠席）	福岡県 県土整備部河川課 課長
横枕 篤	福岡県 県土整備部企画交通課 課長
西田 直人	福岡県 県土整備事務所 所長 所長
三角 正文	福岡市 住宅都市局都市づくり推進部 部長
大谷 雄一郎	福岡市 住宅都市局みどりのまち推進部 部長
山本 恭久	福岡市 住宅都市局都市計画部 部長
野間口 毅	福岡市 道路下水道局管理部 部長
有吉 知美（代理：竹廣）	福岡市 道路下水道局計画部
荒川 裕司	福岡市 博多区地域整備部（沿線区代表） 部長
木下 敬一	福岡市 交通局建設部 部長

【議事録】 質疑及び意見交換

委員長：ただいまから、第２回「地下鉄七隈線（天神南～博多）沿線まちづくりガイドライン検討委員会」を始めさせていただきます。

それでは、まず、事務連絡等について事務局からの報告をお願いします。

※事務局より事務連絡（委員の異動（We Love 天神、ＪＲ）、欠席者の案内について）

委員長：現在、事務局で第１回の会議録のまとめ作業中です。会議録が確定次第、委員の名前をふせた形でＨＰにより公開する予定です。

議事に入る前に委員の皆さんにお図りしたい件があります。

一般の方から傍聴希望が出ていますが認めてよろしいですか？

次に報道機関ですが、熊本日々新聞、西日本新聞、毎日新聞、読売新聞、ＦＢＳの５社から取材の申し出がありました。認めてもよろしいですか？

委員：異議無し。

委員長：傍聴を希望される方、取材を希望される方の入室をお願いします。
それでは、本日の資料の説明を事務局の方からお願いします。

※事務局より本日の資料の確認

委員長：それでは議事に入ります。資料ですが1回目から随時追加していく形でまとめてきたいと考えています。よって第1回と今回（第2回）の資料が一緒にとじられています。
本日、議論して頂く内容ですが、まちづくりの目標とまちづくりのテーマとなっております。それで事務局より説明をお願いします。

※事務局より資料の説明

委員長：2－1で地区の問題点を整理していますのでそれについて何か御意見がないか、その他まちづくりに目標、まちづくりにテーマについて御意見等を頂きたいと思います。
2－1問題点と2－2まちづくりの目標について何か御意見等がありますか。

委員長：御意見等が出ないようなので、次のまちづくりのテーマについて御意見等を伺いその後議論のポイントをまとめたいと思います。

委員：景観整備についてですが、問題点で統一感がないとありますが、ハードだけでなくゴミや落書き等の清掃活動などの取り組みの視点が必要かと思う。（We Love 天神協議会や博多まちづくり推進協議会でもテーマとしてあげられている）
あと、人にやさしい安全・安心なまちで、歩行者や自転車の安全性だけでなく、治安・防犯の視点での取り組みが必要かなと思う。

委員：まちづくりのテーマ、イメージとありますが、ガイドラインを作成したあと具体的にまちづくりを実行していく内容は、まちづくりの取り組みイメージの項目と捉えたらいいのか？

事務局：具体の取り組みの意見については、まちづくりの取り組みイメージとしてまとめている。
今回のガイドラインでは、一番右の欄のまちづくりテーマを決めていくことになる。
具体の取り組みは、ガイドライン策定後にテーマに沿ったまちづくりを行っていくなかで取り組みイメージを参考にしながら進めていきたいと思う。

委員：まちづくりのテーマはいいと思うが、あまりに漠然としたものになっているので、取り組みイメージがないと分からない。
テーマを決めていくうえで、取り組みイメージがしっかりと裏付けてあるのならこのテーマでいいと思う。

事務局：今回の検討委員会の成果物として、ガイドラインの他に検討委員会での検討資料も1冊にまとめようと思っています。今後、まちづくりを取り組んでいくうえで、検討委員会での検討資料を参考にしていきたいと考えている。

委員：まちづくりの目標についてですが、回遊性を高めるまちづくりのなかで歩行者と自転車が回遊の手段として取り上げられていますが、地下鉄やバスなど公共交通もキーワードとして入ってこなくてはいけないのでは。

事務局：ご指摘の通りかと思いますので、再度検討したいと思います。

委員：歩行者の回遊の目的が博多駅に向いているので、それをどう商店街の方に向かせるかだと思う。
そこで、キャナルシティ横の地下鉄駅から地下道を商店街側に伸ばし、商店街や櫛田神社があることや博多座で何があるのかなどを、利用者に分かりやすく案内して頂きたい。
駅を利用した歩行者が商店街の方に足を向けてもらうために、デザインが統一されたサイン・案内板の設置をもっと充実させて頂きたい。

委員：前回、地下鉄駅の位置を将来的なことを考えて国体道路にするべきという意見を発言させてもらいました。（バイサイドや箱崎方面への延伸に対応）
観光インフラ整備として三角市場に広場を整備して欲しい。そこを博多部の拠点として

地元活用していきたい。

地下鉄の出入口も最低4箇所必要で全てにエスカレーターとエレベーターを設置して頂きたい。

テーマの中に緑や花、アートに彩られたとありますが、花壇の花を誰が管理するのか、国体道路の花壇はゴミ置き場になっている。(夜間に人が住んでいないまちで管理を誰がするのか問題)

手入れが難しいのであれば、逆に花壇を撤去してベンチを設置する方がいい。高齢者が歩く時の休憩場所になる。

花壇をやたらとつくるモノではない、花を植える時は大勢の人が参加して植えているがその後の手入れは誰もやらない。(那珂川沿いの花壇もたばこや空き缶のゴミが散乱している)花壇をつくっても手入れをしなければ、景観的にも悪くなる。

人にやさしいとあるが高齢者にやさしくないといけない。天神、博多駅など街中を歩く人の1/3は高齢者、若しくは車椅子に乗った障がい者。そのような人たちが楽に回遊できるまちづくりを目指して頂きたい。

博多の中心(へそ)に人が寄りつきやすいロケーションをつくるために三角市場に広場とそこへのアプローチとして地下鉄出入口を整備して頂きたい。

委員：中洲川端の客待ちタクシーや放置自転車を撤去するだけで歩行者空間がだいぶ変わる。三角市場を休憩する場所・広場としてぜひ活用して頂きたい。広場を整備することで観光客に櫛田神社など博多の歴史を説明する場所として活用できる。

委員：昨日、区役所で放置自転車対策の委員会(地元、警察等)の会議が開かれた。そこで議論になったのが、長年の課題でもある中洲を中心に2000台を超える放置自転車(特に夜間に増える)であった。中洲には駐輪場を整備するスペースがなかなかないが、那珂川沿いに駐輪場を整備したり、地元から駐輪スペースを提供して頂くなどの取り組みを行っている。

委員：バス事業者として走行中の自転車とバスの事故を非常に心配している。国体道路は車道に余裕がないなかで、車道に自転車道を整備するとなると1車線で車の交通を処理することになる。地下鉄が整備されたとして国体道路を通行するバスは相当数の運行は必要で、それを1車線で処理するのは困難である。しかし歩道も狭いので歩道に自転車道を整備するのも難しい。景観上は問題があるが、歩道の植栽帯スペースを自転車道として活用することで、物陰からの飛び出しも無くなり安全上の問題は解決される。自転車道の整備についての議論をよろしくお願いします。

委員長：国体道路の構造的な問題が出ましたが、ここは事故が時々起こっているのでしょうか？

委員：データが手元に無いが、事故件数としては多くないという認識。車道が狭いので殆どの自転車が歩道を走る。夜になると歩行者、自転車が多くなり、接触したとか、危険だという声を聞いている。

委員：中洲新橋の架け替えの計画はあるのか？

委員：現時点でそのような計画はない。橋は老朽化しているが具体的に架け替えるなどの検討は行っていない。

委員：中洲新橋は水車橋等と合わせて三角スペースが2箇所あり、そこに蓋を架けることで駐輪スペースとして活用するといい。橋に周辺には放置自転車も多く景観的にも改善される。

委員：その件については、中洲地区安全安心まちづくり協議会で博多署から市に要望しているが、市からの良い回答はない。

委員：河川への蓋掛けについては、橋の構造や河川占用等の制限もあり、場合によっては検討することもあると思う。

委員：昔は博多川の上に駐車場が整備されていたのでやれないことはない。

- 委員：駐輪場の整備については、2—4にあるように地下鉄スペースを使って駐輪場が整備できないかと思う。
- 委員：まちづくりの目標で中間駅が整備されることで、中間駅周辺と天神、博多駅の3地区の連携（イベントや防災など）や連続性（ハード・ソフト）というところを書けないか。もっと高い視点で3地区連携を書けないか？
- 事務局：3地区連携という視点については反映させたいと思う。
- 委員：まちづくりの目標についてですが、①と②が逆で中間駅という新たな拠点ができることで、天神や博多駅から歩いて中間駅から地下鉄を使う人、地下鉄を使って中間駅まで来て天神や博多駅まで歩いて移動する人などがเพิ่มด้วย、天神から博多駅の距離感が縮まると思う。中間駅を主役にした目標設定でいいのでは。
- 委員：中間駅を活かしたまちづくりを進めることで天神と博多駅間がつながる。
- 委員：このまちづくりガイドラインは、まちづくりの課題やテーマなど漏らさず、網羅していくことが大事だと考える。
そういうことと言うと防災の視点が必要と思う。
中間駅を活かして天神や博多駅を連携しながら防災を考える。地下鉄スペースを備蓄倉庫として活用も考えられる。中間駅を地域の防災拠点として整備できるといい。
三角市場を駅前広場として整備することで災害時には避難場所としても活用できる。
中間駅の整備に合わせて、まちのにぎわいをいかにしてつくりだすのかも大事であるが、それらが整備されたときの市民や観光客等に知ってもらうプロモーションが大事。
- 委員長：だいたい意見が出尽くしたかと思います。
今回は、まちづくりの目標で中間駅を主役に目標設定ができないか。
まちづくりのテーマに、防災・防犯の視点や中間駅周辺、天神、博多駅の3地区連携を入れる。それらのテーマに合わせて課題等を書き換える。
その他、放置自転車や客待ちタクシー対策、回遊における歩道での休憩場所の確保、地下通路の確保、植栽帯撤去による歩行者空間や自転車道の確保などが出てきたかと思います。
たくさんの貴重な御意見ありがとうございました。
次回は、今回の御意見を踏まえた修正と素案をまとめていきたいと思っています。
それでは次回の検討会の日時については事務局からお願いします。
- 事務局：次回の検討委員会ですが8月の上旬で予定しておりますのでよろしくお願いします。